

## ◆優良賞◆

### 命の値段

真土小学校 五年

仕藤 波那

私たち人間に値段はつけられますか？

私は夏休みに神奈川県動物愛護センターに行ってきました。そこには、犬や猫、その他の動物合わせて二百頭以上のとてもたくさんの子たちがいました。その子たちは、新しい家族が見つかるのを待っています。

私の家には猫が三匹います。三匹とも保護猫です。一匹は六年前に保護猫ボランティアの人からゆずり受けました。残りの二匹は去年の夏に外にいたところを保護しました。

少し前に、家族でホームセンターに行きました。そこでは動物たちがたくさん売られていました。上も横もガラスばりのケースに入れられて、見せもののような形で展示されていました。売られている子たちはとてもかわいですが、なんだかとてもかわいそうだなと思ってしまいました。ペットショップにいる子たちのお母さんの中には、子供を産む機械のようにあつかわれている事もあるそうです。ご飯もトイレも生活すべてがとてもせまいケージの中、子供を産んだらすぐに子供たちと引きはなされてまたすぐに妊娠させられるというくりかえしの暮らしをしているのです。その話を聞いたときとても悲しい気持ちになりました。毎日なでられたり、話しかけられたり、遊んでもらったり当たり前の事をしてもらえずにくらすなんてとてもかわいそうです。なので私は動物の命に値段をつけて売るこ

とは、反対します。

うちには三匹猫がいるので、これ以上増えることはむずかしいですが、少しでも多くの人が「命を買う」ではなく「ゆずり受ける」という考えになってもらえると嬉しいなと思います。譲渡会にもぜひ行って下さい。動物を飼うことができない人も、保護猫・犬がいるという事を知ってもらいたいです。